

第5回 星陽・三木中学校区統合準備委員会 議事録（要旨）

日 時： 令和3年7月12日(月) 午後7時～7時50分

場 所： 中央公民館

出席者：

構 成 員 藤平昌秀 常深嘉一 岩崎雅彦 常深裕史 井岡誠
小林統一 岸井善信 久保真太郎 藤本泰徳 枚田玲奈
福田千秋 三宅明美 中西千津江 計倉哲也 小林俊治
生田淳仁 河原正則 大塚康生 善村龍昭 実井三枝
小紫達矢

事 務 局 本岡忠明教育総務部長 横田浩一教育振興部長
田中智美学校教育課長 仲谷淳教育施設課長
鍋島健一学校再編室長 武内克朗学校再編副室長
山本智康学校再編室主査 河賀健太郎学校再編室主査

1 開会

(委員長あいさつ)

本会では、保護者の代表及び地域自治会の代表、学校の代表がそれぞれの立場で意見を出し合うのだが、今回の星陽中学校と三木中学校の統合において、主役は生徒であるということをもう一度認識して、生徒のために実行できる一番良い方法を考えていくようお願いする。

審議に先立ち、本日は、委員の過半数が出席されているので、本日の会議が成立していることを報告する。

次に、本委員会の会議は原則として公開とすることとしているが、個人に関する情報を取り扱う場合など、協議する案件によっては非公開とすることができることとなっている。本日、非公開事項に該当する内容があればお知らせいただきたいと思うが、皆様いかがか。

【非公開該当事項なし】

それでは、本日の会議についてはすべて公開として開催する。

次に、本日の会議の進め方について説明する。

まず、部会長から部会での協議内容をご報告いただく。部会長は、部会で協議された内容や委員から出された意見、部会としての総意を決定した内容、今後部会で協議をしていく内容などについて報告願う。

次に、部会長からの報告を受けて、質疑応答の時間を設ける。委員の皆様には、様々な視点からご質問いただければと考える。

最後に、承認事項について皆様にお諮りする。

以上の流れを、部会ごとに行いたいと思う。各部会においては、今後継続して審議しなければならない内容もあると思うので、委員の皆様には部会への意見提案やアドバイスなど、積極的にご発言いただきたい。

また、新型コロナウイルス感染対策の1つとして、1時間以内の会議をめざす。

2 報告事項

【報告事項なし】

3 各部会からの報告及び協議

(1) 総務部会

(部会長)

「校名」「校章」「校歌」「制服、体操服、バッグ等」についてはこれまでに報告してきた。今回は前回第4回の書面会議にて報告した「閉校・開校準備」「地域交流事業・地域行事」について、この場で報告する。

閉校準備に関しては、閉校準備委員会を立ち上げ、地域の力を借り、進めていく。地域代表及び公民館長、歴代PTA代表、現PTA代表、歴代校長、星友会等で委員会を構成し、7月16日に第1回の会を開き、以後進めていく。進捗状況等今後報告していく。

開校に関する取組としては、先進事例を参考に、統合という観点から、来年4月、三木中学校において両校生徒が共に生活をスタートさせていくという「対面式」のような行事を考えている。

地域交流事業・地域行事については、「細川地域学校」等の地域交流の場づくりの話も上がってきている。星陽地区と中学生とのつながりが絶えることがないように、進めていく。地域行事への積極的な参加を促していく。

(委員長)

今回の総務部会からの報告について、意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【異議なし】

(2) PTA 部会

(部会長)

三木中学校において、7月6日に第6回の部会を行った。

1つ目の議題として、PTA会則(案)の検討とPTA組織について協議した。2つ目の議題として、秋に開催予定である臨時総会について打ち合わせを行った。

会則というものの性質上、具体的な内容については引き続き控えさせて頂

く。抽象的な報告となることを了承願う。

次回部会は8月上旬を予定している。

(委員長)

今回のPTA部会からの報告について、意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【異議なし】

(3) 学校運営部会

(部会長)

前回第4回の書面会議にて報告した「三木中学校の始業時刻・完全下校時刻」「生徒の交流事業」「通学バスの運行」等についてこの場で報告する。

三木中学校の始業時刻・完全下校時刻については、通学バスの運行時刻と連携して、始業時刻や完全下校時刻について調整していくことと確認した。

生徒の交流事業については、各学期に1回は、1、2年生による交流事業(授業、学年行事、部活動等)を三木中学校で実施する。

1学期は7月5日の午後から1年生は手話講座、2年生はマナー講座を両校合同で行った。2学期は、12月6日(月)または7日(火)、3学期は、3月1日(火)または3日(木)で調整する。

通学バスの運行については、4月28日(水)の朝に、中型バスを実際に三木中学校内に乗り入れ、学校の入り口や転回場所の状況等を確認した。市教育委員会と安全な登下校に向け、改修工事等協議をしていく。

その他、部活動の効果的な在り方等について、学校で研修を積み重ねていく。なお、テニスコートの整備時期についても市教育委員会と調整し進めていく。

(委員)

委員長が言われたように、統合に向けて生徒の心情を大切にしたいと考える。そこで、星陽中学校のホームページにも掲載されているこの交流会に参加した1年生の感想を紹介する。

「三木中学校に行った時、広い校舎、手を振ってくれる友達…とても嬉しく、わくわくが止まらなかった。授業においても、みんなが助け合い、絆が感じられた。部活(動)体験でも、とても優しく接してくれ、楽しい所だと分かった。今後の交流を通して、より絆を深めていきたい。」

「手話講演会では、クラスの人数が多く、たくさんの意見が出て、とても勉強になった。耳の聞こえない人の苦労や私達に出来ることは何かを学習できた。部活(動)体験では、慣れない外(のグラウンド)でバレーをした。人数が多いとこんなこともあるのかと驚いた。三木中の皆さんは初対面でも明るく接してくれた。とても良い友達になれそうで、三木中での中学校生活が楽しみ

になった。」

(部会長)

今後は、2学期早々に、「合同校外学習」、2学期末には「合同授業」、3学期には「朝から夕方まで三木中学校で学校生活を送ること」を計画し、課題等の調整を図っていきたいと考える。

(委員長)

生徒の感想の報告を受け、これまで目指してきた「生徒中心の統合」に向けて、少し安堵した。今後ともよろしく願います。学校運営部会からの報告について、意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

(委員)

三木中学校の始業時刻・完全下校時刻について、今質問した方が良いか、それとも、次回の通学・安全部会において質問した方が良いか？伺いたい。

(事務局)

今、質問をお受けする。

(委員)

市教育委員会が現在把握している市内他中学校の完全下校時刻及び部活動の活動時間の状況について認識の違いを確認した上で、総合的に考え、完全下校時刻について決定を願う。また、統合前後における通学時間を正しく把握した上で完全下校時刻の繰り上げ等検討願う。

委員長が発言された、生徒中心の立場に立って判断されるよう、重ねてお願いする。

(委員長)

保護者の立場、PTAの立場で「生徒に良かれと思って言われているのか」、「生徒が本当に要望しているのか」という所が問題だ、という意識である。「生徒が不憫だ、もう少し気を遣ってあげて」という観点ではなく、「生徒にとって何が幸せなのか、何を望んでいるのか、本当にそう願っているのか」という観点で考えていくのが必要だと委員長として考え、挨拶の中でお願いした。

統合したことで、「バスで登下校できる生徒に対して、徒歩生徒から文句が出ないか」、「良かれと思い考えたことが逆にいじめに繋がっていないか」等考える必要がある。この観点を持って発言して欲しいという趣旨で、発言した。よくお汲みとりいただきたい。

(委員)

「委員長が発言された、生徒中心の立場に立って判断されるよう、重ねてお願いする。」の部分は訂正させていただく。

生徒中心の立場に立ち、物事を決定してほしいというのが私の思いである。

(事務局)

事務局がお伝えした情報が誤って伝わったことに関しては、通学・安全部会で訂正する。申し訳ない。

完全下校時刻については、今後、学校とも調整しながら、生徒を中心に考えていく。

(委員長)

今後の課題として申し送ることとする。皆様いかがか。

その他について、意見を伺いたいと思うが、皆様いかがか。

【異議なし】

(4) 通学・安全部会

(部会長)

6月10日に第5回通学・安全部会を行った。「バスルートについて」「バスの台数について」「登校時のバス運行時刻について」「下校時のバス運行時刻について」「高畑地区通学方法について」の5項目について協議した。

1点目、バスルートについては、「口吉川・細川ルート」「瑞穂ルート」の2ルートとする。

2点目、バスの台数については、「中型バス1台(口吉川・細川ルート)」「マイクロバス1台(瑞穂ルート)」の2台とする。

3点目、現段階での登下校時のバス運行予定時刻については、「口吉川・細川ルートを6:40発、7:45発」、「瑞穂ルートを6:45発、7:50発」とする。統合後、運行しながらバス運行時刻の調整についても考えていくこととする。

部会としての方向性を出した以上3点について、今回の統合準備委員会でご承認願う。

(委員長)

只今、部会から提案のあった3点について皆様意見はないか？委員会として承認して良いか？

【異議なし】

(委員長)

それでは、この3点について委員会として承認し、教育委員会へ提案することとする。

(部会長)

次に、高畑地区の登下校についてである。当初から、通学・安全部会の協議事項として、地域からも要望を伺っており、部会で協議していくこととして予定していた。しかし、今回の統合とは別で、切り離して対応することとした。そのことについて、事務局の方から報告がある。

(事務局)

現状、高畑地区から星陽中学校までは自転車による通学となっている。しかし、高畑・桃坂間の坂道は狭い上に、大型トラックも通行するため危険な道路と認識している。小学生については、登下校時に高畑地区と桃坂までを送迎バスにて対応している。

県のホームページには、「道路改築事業 主要地方道神戸加東線桃坂バイパス事業」高畑桃坂間の県道工事について「自転車の安全な通行を確保するため、『幅広路肩』とする。」と記載されており、危険性を認知していると思われる。しかし、工事自体はまだ開始されておらず、もう少し先になるようだ。

高畑桃坂間の危険性に関しては、統合の結果引き起ったものではなく、何らかの対応の必要性を感じていた所である。教育委員会として、対応を検討する必要があると考える。

統合とは同じ時期になってしまったが、この高畑地区の通学方法を、今回の統合とは切り離して教育委員会の方で検討するのが適していると判断した。

そこで、高畑地区通学方法は、平日のみ、口吉川・細川ルートの通学バスに合わせて県道加古川三田線まで現高畑桃坂間を送迎している小学生用ワゴン車を増便して乗車することとする方向で検討をしていく。

なお、運行する期限としては、県が行う高畑桃坂間の県道工事において幅広路肩が整備される、若しくは、現在小学4年生の児童が中学を卒業するまで、のいずれか早い段階と考えている。

(委員長)

道路をつくるのに、時間もかかる。高畑地区の生徒も安全に登校できるように、統合とは切り離して、ぜひ前向きに考えていていただきたい。以上、通学・安全部会からであったが、皆様いかがか。

【異議なし】

4 次回の日程等について

(事務局)

次回の日程について、9月下旬から10月上旬で検討中である。この委員会での協議が必要な案件、急を要するような協議事項をお持ちの部会があれば、日程調整を行うが、各部会いかがか。

特にないようなので、9月下旬から10月上旬で調整をしていく。

(事務局)

第4回統合準備委員会を書面にて行ったので、実質今回が今年度初めての顔合わせとなった。本日も遅くまで熱心に協議していただき感謝申し上げます。その間、各部会で様々に協議していただいていることにも重ねて感謝申し上げます。生徒の交流も良い方向で進んでいるように思う。これからも引き続き、生徒を中心に考え、様々な面からの協議を重ね、統合に向けお力添えをいただくよう、お願い申し上げます。

9 閉会

(副委員長)

スムーズな会の進行へのご協力、また、慎重審議に感謝申し上げます。これで、第5回星陽・三木中学校統合準備委員会を閉会とする。